

# 事前準備

## STEP 1 ・ 取材先をさがそう

祖父、祖母も戦後生まれという時代です。  
おじいちゃん・おばあちゃんが戦争体験世代という人は問題ありませんが、身の回りに体験者が居ない場合はどうしたらよいでしょうか。

### ケース・1 近所の歴史資料館を調べる

区役所・市役所や歴史資料館では夏休みに太平洋戦争を扱った企画展が行われていることがよくあります。  
会期中に『体験者お話し会』が開催されることもありますので調べてみましょう。  
図書館や公民館などで行われることもあります。

### ケース・2 戦争企画展で『お話し会』をやっていない場合

せっかく企画展を見つけたけれどお話を聞くプログラムが無かった場合は、主催している人たちに「宿題で、戦争体験を聞いてくることになっています。どなたか紹介してもらえませんか？」と、お願いしてみましょう。  
その場にいないくても後日連絡など、協力してもらえることが多いです。

### ケース・3 戦争企画展が無かった・終わっていた場合

ケース・2の時のように「宿題で」と言って、近くの歴史資料館にお願いしてみましょう。

## STEP 2 ・ 取材先が決まったら

### ポイント・1 体験した場所を聞いておく

可能であれば事前に体験した場所を聞いておき、戦時中（昭和16～20年）に作成された住宅地図を用意しておく、「この辺りに住んでいて、こっちの方へ逃げた」とか、「ここから向こうの山の空が赤く染まるのが見えた」等、具体的な話を聞くことができます。

### ポイント・2 事前学習

余力があれば、予め戦争体験の証言集などを読んでおくとイメージが掴みやすいです。  
時間があれば、図書館で借りるなどして読んでおくとよいでしょう。

### ポイント・3 学校系統図のダウンロード

尋常小学校・国民学校（現在の小学校）卒業後の進路は、現在の就学システムと異なり複雑です。「女学校〇年生の時」とか「青年学校で」と言われても、何歳ぐらいなのかすぐにイメージできないと思います。  
戦争が始まってから生まれた人の話を聞く場合は必要ありませんが、戦争が始まる前に生まれた人の話を聞く時は持っていた方が分かりやすいです。必要に応じてプリントアウトしておきましょう。

文部科学省のウェブサイトで誰でも見ることができます。



[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/hakusho/html/others/detail/1318188.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/html/others/detail/1318188.htm)

※ 体験者の生年月日に合わせて大正8年か昭和19年の画像を参照してください。



## STEP 3 ・ 取材当日

### ポイント・1 持ち物

- ・ 筆記用具
- ・ 聞き取りシートとメモ帳
- ・ 住宅地図や学校系統図
- ・ ボイスレコーダー（黙って録音せず、使用前に使ってもいいか確認しましょう）
- ・ カメラ

### ポイント・2 聞き取りシートに基本情報を記入

普段から講話活動をしている人を除き、80年近く前の出来事を時系列（体験した順番）に沿って話をできる人はほとんどいません。最初に聞き取りシートに沿って生年月日や家族構成等を教えてもらった後は、話の腰を折らず、思い出したことを話してもらいましょう。分からない言葉や出来事はメモを取っておき、後でまとめて質問します。

### ポイント・3 「覚えていない」と言われてしまったら

事前に戦争体験を聞かせてほしいとお願いしているはずなので、何かしら話すことを用意しておいてもらえると思いますが、もしも「覚えていない」と言われた場合は、『家族のこと』や『友だちのこと』、『好きだった遊び』など生活のことを聞いてみましょう。話しているうちに戦争の頃のことを思い出すこともあります。

#### ケース・1 とある戦争展で出会った高齢の男性の生活の記憶

尋常小学校に入学し、翌年尋常小学校が国民学校に。

小学1年生の時の国語の教科書には有名画家の情緒豊かな挿絵が付いていたのですが、翌年国民学校2年生になって教科書が変わったら、「味も素っ気もない『ポンチ絵』になってしまった」ことをとても怒っていました。

「ポンチ絵」という言葉を調べてみると「概略図」という説明になっています。情緒豊かな挿絵ではなく、記号のようなイラストになってしまった、または雑な絵柄になってしまったという意味で「ポンチ絵」と表現していたのではないかと推測します。

実際、「父親が戦争に行くのが当たり前」という世の中になりつつあり、家族団らんや家庭に父親がいるような挿絵が教科書から消えました。

「火の海を逃げた」とか「防空壕の中で怖かった」というような体験ばかりが戦争体験ではありません。

#### ケース・2 とある資料館で出会った高齢の男性の東京大空襲の記憶

亀戸在住。3歳。父・母・弟。

昭和20年3月9日の夜、母親に連れられて亀戸駅から千葉県へ疎開。当日のことは自分ではおぼろげにしか覚えておらず、後になって母親から聞いた話。

東京の空襲が激しくなったため千葉の親戚を頼り、父を残して母親と子どもは避難することに。9日の夕食後、亀戸駅から汽車に乗ろうとしたが来る汽車全て満員で、生まれたばかりの弟と3歳の自分を連れた母は乗り込むことが出来ず、ホームで何本も見送ったそう。夜の9時頃、やっと乗り込み千葉へ向かった。

駅のホームが寒かった。自分は生まれつき足が悪いので、もしもあの時母が諦めて亀戸の家に戻っていれば、今ここに居ることは無かっただろう。

空襲そのものは体験しておらず、母から聞いたという戦争体験ですが、一夜で亡くなった人の数10万人とも言われる大空襲で、汽車に乗って紙一重で逃れた人もたくさんいたことがわかりました。



# STEP 4 ・ 取材したことを書きとる

## ポイント・1 聞き取りシートの使い方

- ・ 基本情報（名まえ、生年月日、体験した時一緒に住んでいた家族、場所）を記入
- ・ 聞き取った生年月日に合わせて年表の『本人』の欄にチェック
- ・ 年表の『出来事』欄、『メモ』欄にメモを取る  
（足りなくなると思うので、メモ用紙は多めに用意しましょう）

## 記入例

戦争体験聞き取りシート				
名まえ	笹田れいに		生年月日	1916年 10月20日
家族	父(工場勤め)、母、姉、姉、姉、姉、姉、 ←家族の年齢がわかれば記入			
場所	えばら			
西暦	年号	本人	世の中のできごと	体験者のできごと
1923	T12		【9月】関東大震災・亀戸事件・甘粕事件	
24	13		第二次護憲運動	
25	14		【3月】治安維持法/【4月】陸軍現役将校学校配属令	
26	15/S元		【12月】大正天皇崩御	
27	2		金融恐慌	
28	3		【2月】初の普通選挙/【7月】大阪で国内初の防空訓練	
29	4		世界恐慌	
30	5		昭和恐慌	
31	6		【9月】柳条湖事件（満州事変の発端）	
32	7		【2月】満州国建国/【5月】上智大生靖国参拝拒否事件	
33	8		【3月】国際連盟脱退	
34	9		【4月】渋谷駅前にハチ公（翌35年3月没）の銅像設置	
35	10		【2月】天皇機関説事件/【8月〜】国体明徴声明	
36	11		【1月】ロンドン軍縮会議脱退/【2月】2・26事件 【5月】満洲農業移民百万戸移住計画	
37	12		【7月】盧溝橋事件（日中戦争の発端）・通州事件 【10月】防空方施行/【11月】日独伊三国防共協定 【12月】南京攻略	
38	13		【4月】国家総動員法	
39	14		【7月】国民徴用令/【9月】興亜奉公日始まる	
40	15		皇紀2600年（奉祝式典は11月） 【6月】砂糖・マッチの配給制始まる	
41	16	<input checked="" type="checkbox"/>	【4月】国民学校令施行（尋常小学校が国民学校へ） 【12月】真珠湾攻撃・太平洋戦争始まる	戦争が始まる少し前に
42	17		【1月】興亜奉公日が大詔奉戴日になる 【4月】日本初空襲（ドーリットル空襲） 【4月】戦時災害保護法施行令/【6月】ミッドウェー海戦	
43	18		【6月】山本五十六国葬/【10月】出陣学徒壮行会 【10月】防空法再改正	
44	19		【1月】建物疎開始まる/【6月】B-29による初空襲（九州） 【8月】学童疎開始まる/【11月】B-29による東京初空襲	
45	20	<input checked="" type="checkbox"/>	【3月】東京大空襲/【3月〜】沖縄戦 【8月】広島・長崎に原爆投下/ノ連参戦/ポツダム宣言受諾 【9月】降伏文書署名	10歳上の姉 おんぶ

× モ2番目の姉に背負われて火の中を逃げた  
神社で 母を必死で探して 真ん中の姉 幸や食べもの 会えなくて？ 病気→肺炎 足りない 亡くなった

太平洋戦争とすぎなみ <QRコード>

聞き取れたことを書いていく



## STEP 5 ・ 聞き取りシートを見ながら調査

### ポイント・1 「記憶」＝「事実」とは限らない

元々歴史に関心があった、または十分な予習をして臨んだ場合、自分の持っている情報と体験者の証言に矛盾が生じる場合がありますが、先ずは最後まで聞きましょう。

#### ケース・1 東京大空襲は夕方だった

「なぜか『深夜』ということになっているけれど、あの空襲は夕方だったんだよ」

回顧的な写真展で偶々話をした高齢男性がそう言いました。会話の最中にそういう話になったため、「米軍の作戦記録では深夜になっていますが」と答えると、その方は「うん。でも実は夕方に始まったんだよ」と言ったので、「そうですか」と答えてその先の会話を続けました。

#### ケース・2 B-29は、空中に静止して焼夷弾を投下していた

「B-29は、ヘリコプターのように空中に止まって焼夷弾を投下していた」

体験者の証言を聞くイベントで、その場には10人くらいの聴講者がいました。聞いていた人たちは少しざわつきましたが、証言者がその話をする前に「子どもの頃から目が悪く、周囲が時々コマ送りのように見える」、「よく見ようと目を細める癖がついていて、勤労動員先の将校に「目つきが悪い」と言われて嫌われた」と言っていたので、目が悪いことでそう見えたのではないかと思います。

B-29がそのような航空機ではないことは調べればすぐに分かることなので、隣に座っていた人がこちらを見て「ほんとかな!？」と言ったのに対して、「いや。目が悪いと仰っているのでそのせいじゃないでしょうか」とは答えましたが、証言をした人には指摘しませんでした。

間違っているとわかっていることを、「間違っていますよ」と指摘しないのは不親切かもしれません。

コミュニケーション術に長けていて、証言者を傷つけたり自信を喪失させたりせずに伝えることができる人は、伝えていいと思います。

### ポイント・2 話してくれたことが全てとは限らない

忘れてしまって話さないこともあります。言いたくなくて話さないケースも多々あります。

家族や友人など近しい人の死や、疎開先で受けたいじめ、戦場で人を殺した、或いは殺す場面を見た経験など、深刻な体験ほど口にしない人も多いです。興味本位で無理に聞き出すことは避けるべきですが、「怖い体験を語らない」＝「怖い体験をしていない」とは限らないことは心得ておきたい部分です。

また、本来深刻な状況をあっけらかんと話す人、無感情に話す人もいますが、心の内も同様であるかはその人にしかわかりません。「怖そうに語らない」＝「怖くなかった」とは限らないとい

### ポイント・3 証言を元に調査する

証言をまとめただけでも十分な調査報告が出来上がると思いますが、余力があれば証言を元に書籍で調べるなどして補完してみましょう。

上記の例のような証言に出会い、「事実だろうか?」と、疑問に思ったことを元に調査を行うのもおもしろいかもしれません。

図書館や郷土資料館などで、役立つ情報を探してみましょう。



# STEP 6 ・ 聞き取りシートと調査結果を見ながら清書

## ケース・1 清書シートを使う

### 記入例

おばあちゃんの戦争体験			
○ 年 △ 組 野良兎ぞず			
名まえ	笹田れい子		生年月日 昭和16年10月20日
家族	父(工場勤め)、母、姉、姉、姉、姉、姉、自分		
場所	東京荏原区		

西暦	年号	月	で き こ と
1941	S16	10	荏原区で生まれる
		12	太平洋戦争が始まる。(生後約2ヶ月)
45	S20	4月か 5月頃	住んでいた町で空襲があった(3才の春)
		11	戦争が終わってから真ん中の姉が肺炎で亡くなる

体験談

3歳の時空襲にあい、10歳年上の2番目の姉に背負われて火の中を逃げた。

小学生になってからもしばらく火事の夢を見た。近くの神社に逃げ込んで落ち合うはずだった母が見つからず、必死で探す夢を何度も見た。

戦争で死んだ家族はいないが、戦争が終わってから真ん中の姉が病気で亡くなった。食料が足りなかった。布団に寝かされた姉にすがって泣いている母の姿が忘れられない。

あとのふたつのエピソードは戦後の体験ですが、戦争に関係したことです

感想・まとめ

最初に聞いたときは、神社で「おばあちゃんがいとおばあちゃんに会えなかったのか」と思いましたが、よく聞いたら大きくなってからの夢の話で、実際はみんなで一緒に逃げたそうです。

大きくなってからもそんな夢を見るなんて、恐ろしいと思いました。

空襲にあったのがいつだったのか、小さかったので覚えていないと言われたので、図書館で調べたりおばあちゃんのお姉さんに電話で聞いてもらったりしました。

図書館で借りた『××の記録』という本によると東京では100回を超える空襲があった。荏原では5月24日の空襲が一番激しかったそうです。とかいろいろ書こう

この項目は、調べたこと、わかったことをたくさん書く

## ケース・2 スクラップブックや模造紙などを使ってオリジナルにまとめる

持参した住宅地図に書き込んでもらったり、体験したことをたくさん聞き取ることができた場合、清書シートでは書ききれません。また、思い出の品や当時の様子が分かるものを見せてもらえることもあります。写真に収めたり、コピーをとらせてもらったりして使いましょう。

太平洋戦争とすぎなみ



# 最後に

10人に聞けば10通り、100人に聞けば100通りの戦争体験があります。  
「伝え残してほしい」と言って講話活動をしている人もいれば、「思い出したくない」「言いたくない」という人、それぞれです。

そのような背景の中、戦争を体験した人たちから直接話を聞くことができる時間は、あとわずかです。

実際聞いてみると、「戦争が始まって2年くらい経った頃、父が明治屋パーラーにアイスクリームを食べに連れて行ってくれた。ビルにはエレベーターが付いていて、お店のある上階まで乗っていった」、「墜落したB-29の残骸からベアリングを拾ってきて板に取り付け、手製のカートを作って坂道で乗って遊んだ」、「小雨が降っていて、支給された38式歩兵銃を錆びつかせたら嫌なので、学徒出陣の壮行会をサボった」など、「砂糖が配給制になって久しい1943年ころでも、まだお店が営業されていたのか」とか、「怖い憲兵や警察の見張りはどうしたんだ」、「一緒に出征が決まった学友は、壮行式の隊列にこの人がいないのに気が付かなかったのか」など、「聞いていたのと違う」「思っていたのと違う」という体験に巡り合います。

壮行会をサボった人など、「軍隊に入れば遊べなくなるから」と、その日は貰った銭別を握りしめ、劇場で踊り子さんのショーを観劇。お酒を飲んで遊んだそうです。

もちろん、「予習した通りだ」、「聞いていた以上に恐ろしい」という体験にも出会うでしょう。壮行会をサボった方は入営後のことに全く触れませんでしたので、時期的なことを考えると、もしかしたら簡単には口にできない体験をしていたのかもしれない。

あなたはあなたの『戦争体験』を発掘してください。

野良兎 Zazou

## フィードバックにご協力をお願い

### 募集 1 発掘した戦争体験の共有

- ・ 採取した戦争体験を投稿してください  
注) 必ず事前に証言者の許可を取ってください
- ・ <https://suginamilibrary-on-the-pacificwar.com/contact>

### 募集 2 聞き取りシート・清書シートの使用感

- ・ 聞き取りシートや清書シートの使用感を教えてください  
今後の改良に役立てます。  
「使いにくかった」等の感想はもちろん、「年表は必要ないと思う」、「もっとこういう項目を付けてほしい」というような具体的なご意見・ご要望を待っています。
- ・ [https://suginamilibrary-on-the-pacificwar.com/i-research2023\\_02](https://suginamilibrary-on-the-pacificwar.com/i-research2023_02)

